

活動報告

団 体 名	おもやい
活 動 名	佐賀豪雨災害の被災者のための住宅復旧支援にかかるコーディネート及び活動
活動期間	2021/09/01～2021/10/30
活動の成果	令和3年8月の豪雨災害は、令和元年に続き2年で2回の被災ということから多くの方々が大きく落ち込んでいる状況下、活動をスタートさせた。活動開始当初はコロナ禍にあって一般のボランティア募集は難しく、災害救援に関する専門性をもったNPO団体の受け入れ窓口として機能させ、県外からであってもPCR検査、またはワクチン2回接種をしていただいた上で来県して活動をしていただいた。 一昨年の経験（そして一昨年の水害の際にかなり処分をしたものが多かったこともあり、処分すべき家財道具類がそもそも少なかったという面があるが）から使えなくなった家財道具・家電製品の搬出はかなり早いスピードで進んだがその後の家屋の修繕について、悩んでおられる方が多くいらしかった。そうした方々へのつながりが一昨年からの継続した活動によってあったため、一定程度対応が可能となり、再建に向けての取り組みへとつながった。 しかし課題としては、令和元年、そして令和3年と立て続けに発生している被災地では「また来年も水害が発生するかもしれない」という不安が依然として残っており、そうした不安から今回の水害によって若い世帯の転居も少なからず進んでおり、高齢化率も上昇している地域において、たとえご本人が選択をされたとは言え、（水害がまた発生するかもしれない）その場での生活の再建が本当に正しいのか判断が非常に難しい課題がこの被災地には残されている。
寄付者へのメッセージ	ご寄付をいただきました皆様、本当にありがとうございます。佐賀県における水害は令和元年に引き続き短期間で2回の被災となっており、多くの方々が精神的、体力的、そして経済的な負担が大きくなっております。そうした中でご支援賜りましたこと、本当にありがたく存じます。 私どもは、私たちがお手伝いすることで少しでもそれらの負担が軽減されることを目指して活動を継続しております。現在では寒くなって参りましたので、被災された方々へ暖房器具のご支援や食糧支援も引き続いて行なっております。 来年の出水期には「また水害が発生するかもしれない」という不安の中、ここで生活を続けていかれる方々のために少しでも前向きになっていただけるよう、これからも継続して活動を続けて参ります。引き続き皆様のご支援、どうかよろしくお願いいたします。

(活動のようす)

